



人馬一体

JRA美浦トレーニングセンター 美浦村



馬の理解を深める施設見学やイベント開催
 美浦トレーニングセンターでは、毎週行われる施設見学や、GIレースの追い切り調教を見学できるツアー、さらに馬とのふれあいを楽しめる「ウマスタ(馬に親しむ日)」などを行っています。競走馬を間近で見たり、施設見学で、馬との親しみを深めることができます。詳しくはホームページをご覧ください。

今年(2015)は午年
 JRA(日本中央競馬会)美浦トレーニングセンターは、1978年に競走馬の育成・調教を行う施設として開設されました。その広さは約224万平方メートル(東京ドーム約48個分)という広大なもので、敷地内には2つのトラック型調教コース、坂路調教馬場、森林馬道、そして競走馬サイミングプールなどさまざまな調教設備があります。
 ここで働く騎手や調教師、厩務員の人たちは1200人以上。人と馬が一緒に暮らす一つの村、ともいえるほどの規模があります。
 関係者以外は施設内に入ることはできませんが、一般の人たちにも競走馬への理解を深め、馬に親しんでもらうことを目的に、施設見学や特別イベントなどが行われ多くの人たちが参加しています。
 今年は午年。馬、そして馬のために作られた施設を見に訪れてみてはいかがでしょうか。

問い合わせ 美浦トレーニングセンター 総務課
 TEL.029-885-2111(代表)月・火を除く9:30~12:00と13:00~16:30
<http://www.jra.go.jp/miho/index.html>

表紙:JRA美浦トレーニングセンター
 表紙撮影:前川健彦

特集 情景茨城 “いばらきを感じる”風景

豊かな自然に恵まれ見どころいっぱいの茨城は、四季折々にさまざまな風景を満喫できます。心に響き感動を与える風物。そんな魅力ある茨城の情景を紹介します。

Photo:Takehiko Maekawa

けんしん

教育カードローン



けんしん 教育カードローンの商品内容

商品名	けんしん教育カードローン		
ご利用いただける方	<ul style="list-style-type: none"> ●専門学校・短大・大学・大学院等(6年制まで)などに進学、または在学する学生のご父兄の方 ●申込時年齢満20歳以上で、完済時期70歳未満の方 ●税込年収が200万円以上で安定収入の見込める方 ●勤続(営業年数)2年以上の方 ●当組合指定の保証会社の保証が得られる方 		
お使いみち	●受験料、入学金、授業料などの学費、および学生生活を維持するのに必要な資金		
お借入極度額および返済額	●受験費用の申込の場合は、お借入極度額は100万円となります。		
	極度額	毎月返済元金額(最低額)	年収条件
	100万円	1万円	200万円以上
	150万円	1万5千円	300万円以上
	200万円	2万円	400万円以上
	250万円	2万5千円	500万円以上
	300万円	3万円	600万円以上
	※返済は元金のほか、お利息をお支払いいただきます		

茨城県信用組合
<http://www.kenshinbank.co.jp>

商品のご案内・お問い合わせは、お近くのけんしん窓口
 または 0120-708-250
 (受付時間/土・日・祝日を除く 午前9:00~午後6:00)



復興への鹿島立ち

鹿島神宮 一之鳥居 鹿嶋市

昨年6月、水底からの高さ約18メートルと水上の鳥居としては最も高い、鹿島神宮一之鳥居が鹿嶋市大船津の北浦に完成しました。平安時代から水中にあったことが確認されており、船の運航の目印にもなっていたという一之鳥居。今年6月に再建予定の二之鳥居とともに、9月に行われる12年に一度の式年大祭御船祭においては、震災復興へ向けた「鹿島立ち」のシンボルとして輝きを放ちます。

問い合わせ
鹿島神宮
TEL.0299-82-1209
<http://www.kashimajingu.jp/>



ダイヤモンド筑波

筑波山 筑西市

筑西市にある母子島遊水地は、筑波山の撮影スポットとして有名です。四季を通して色や姿を変える筑波山を水辺越しに美しく写すことのできる場所として、多くのカメラマンが集います。特に、山頂から太陽が昇る「ダイヤモンド筑波」は、2月14日前後と10月28日前後にしか撮影チャンスが訪れない貴重な瞬間。まして、天候がよくなければ撮影は不可能です。「ダイヤモンド筑波」に限ることなく、季節ごとに色合いを変える筑波山の神々しい姿を、写真に収めてみてはいかがでしょうか。

情景茨城
“いばらきを感じる”風景

問い合わせ
筑西市観光協会
TEL.0296-20-1160
<http://www.chikuseikanko.jp/>



百花繚乱

国営ひたち海浜公園 ひたちなか市

国営ひたち海浜公園は、その広さ約190ヘクタール。園内は、自然に親しむとともに、観覧車やジェットコースターなどの施設が整備された7つのエリアに分けられ、花々の自然観賞、体験学習、スポーツ、レジャーなどさまざまな楽しみを満喫できます。なかでも、広大な敷地に広がる花畑では、3月のスイセンから始まり、チューリップ、ネモフィラ、コスモス、コキアなど、一面に埋め尽くされた花々を楽しむことができ、県内随一の花の名所として親しまれています。

問い合わせ
国営ひたち海浜公園 ひたち公園管理センター
TEL.029-265-9001
<http://hitachikaihin.go.jp/>



世界一の青銅立像

牛久大仏 牛久市

牛久市の澄んだ空にひととき高くそびえる牛久大仏(正式名:牛久阿弥陀大佛)は、高さ120メートルを誇る世界最大の青銅製の立像です。1992年に完成したこの像は、浄土真宗東本願寺派本山東本願寺によって造られています。周囲は極楽浄土をイメージした花畑やふれあい動物園が整備されており、季節ごとに鮮やかな花に彩られ、訪れた人たちの心を癒やします。大仏様の内部には、85メートルの高さに展望窓があり、天気よければ東京スカイツリーや富士山までも望め、大仏様の心とともに澄んだ景色を楽しめます。

問い合わせ
牛久大仏
TEL.029-889-2931
<http://www.daibutu.net/>

[いばらきの海] 190キロメートルの海岸を持つ茨城県。美しく変化に富んだ風景を紹介します。

ウミウの捕獲場 日立市

白浜青松の海岸に突き出た断崖絶壁に設けられた鳥屋。
岐阜県長良川鶺鴒など11カ所へ、ウミウを供給している全国唯一のウミウの捕獲場です。
鶺鴒文化を支える伝統の技術は、日立市の無形民俗文化財に登録されています。
捕獲の様子とウミウは見ることはできませんが、
1月から3月と7月から9月には、捕獲場の一般公開をしています。

みんなが創る人が輝く
元気で住みよいいばらき

新春インタビュー



木村さおり 橋本 昌

アナウンサー

茨城県知事

昨年を振り返って

木村 新しい年を迎えました。本年もよろしくお願ひします。
知事 よろしくお願ひします。
木村 まもなく東日本大震災から3年がたちますが、昨年ほどんな年でしたか。
知事 北茨城市の防災集団移転や潮来市の液化化対策など、いくつ課題は残っています。全体として大震災からの復旧は着実に進んできています。一方で、水産業や観光業では、いまだ

風評被害が強く残っております。

円安・株高という状況の中で、経済の明るい動きも見られてきましたが、県内では中小製造業などを中心に厳しい状況が続いています。少しでも早くデフレ脱却に向かっほしいと願っています。県全体としては、復興を成し遂げつつ、次の段階を目指していく年だったと思っています。

企業立地ナンバーワンへ

木村 少子高齢化、人口減少が急速に進

産業振興と観光の推進

木村 昨年は、筑波研究学園都市の建設が閣議了解されてから50年という節目の年でもありました。
知事 筑波大学は開学40年、元学長の江崎玲於奈先生が、ノーベル物理学賞を受賞して40年という年でもあり、多くの記念行事が行われました。
その中の一つとして開催した「イノベーションフォーラム in つくば2013」は、科学者や企業人の講義を聞いたり、研究機関を見学したりするイベントで、科学に興味のある高校生が全国から約1

200人参加してくれました。これをきっかけとして、つくばから若い人へ科学の素晴らしさを発信し、大きな刺激を与えることができたのではないかと考えています。

木村 つくばは、国際戦略総合特区に指定されていますね。
知事 全国7つの国際戦略総合特区の中で、実用化という点で一番順調に進んでいると思っています。生活支援ロボット(HAL等)、次世代がん治療法BNCT(ホウ素中性子捕捉療法)などは、比較的早く実用化できるのではないかと考えています。BNCTは市場規模で3千億円くらい、生活支援ロボットは1兆円くらいになると言われています。日本の輸出産業にも貢献し、将来の日本の発展に必要な役割を果たせると考えています。

木村 さらに、つくばサイエンスツアーも好調と伺っています。

知事 これは私が提案したのですが、ロケットなどが展示されているJAXA筑波宇宙センターや、科学技術を体感できるつくばエキスポセンターなどさまざまな研究施設をバスで巡るツアーです。子どもたちが直接見たり体験したりすることで、科学に興味・関心を持つてほしいと思います。平成24年度には約90万人の方が見学に訪れています。国内だけでなく、ぜひ、世界中から多くの方に訪れてほしいと思っています。

木村 茨城県は全国有数の農業県でもありますね。
知事 TPPや米の生産調整の見直しなど、農業は転換期を迎えています。日本の農業がこれ乗り越えていくために、

北海道を除くと日本一の農業県である本県がモデルを示していかなければいけません。農家や農業協同組合と連携を図りながら、県として具体的な取り組みを考えていきたいと思っています。農産物の加工や輸出に向けた動きなども出てきていますから、こうした動きをもっと盛んにしていくことも大事だと考えています。

少子高齢化対策

木村 少子化対策や高齢化対策も重要な問題ですね。

知事 県では、妊娠・出産・子育ての前の段階である結婚を支援していかなければならないと考え、早くから力を入れてきました。平成18年6月に全国に先駆けて、いばらき出会いサポートセンターを開設し、これまで1100組以上が結婚にこぎつけています。今後もマリッジサポートの皆さんなどと連携しながら出会いの場づくりに取り組み、結婚支援を一層進めたいと思っています。

一方、市町村と連携しながら保育所整備を行い、待機児童解消にも取り組んでいます。平成25年度は60カ所程度を整備する見込みであり、体制が整いつつあると感じています。
高齢者については、生きがいと健康を増進してもらう取り組みを進めています。生きがいづくりでは、高齢者はつらつ百人委員会を設置しています。健康づくりでは、シルバーバリアビリティ体操指導士が5000人を突破しました。ヘルスロードも、約900キロメートルが整備されています。

安心できる医療体制をつくる

木村 県民の皆さんに安心して暮らしていただくためには、医療なども重要になってきますね。

知事 医療の専門化、高度化が進む中、地方では医師不足が深刻となっています。また、臨床研修制度が変わってからは、若手医師が都会へ集中してしまう傾向も見受けられます。このような課題を解決し、県内の医療体制を整えるために、県では修学資金を貸与し、県内で医師として就業してもらうことを条件とした地域枠という定員枠を医科大学等に設け、県が特定の研究を支援することで、医師を医師不足地域などの医療機関に派遣してもらおう仕組みも設けています。

国際社会に羽ばたく人づくり

木村 知事は人づくりに力を入れていら

っしゃると伺っています。未来を担う人材の育成についてはどうお考えですか。

知事 資源の少ない日本は、エネルギーや食糧を海外から輸入するために、外貨を稼がなくてはなりません。そのため、少人数教育とあわせ、理数教育、国際理解教育を充実させ、科学技術を担う人材、国際社会で活躍できる人材の育成に努めています。
また、豊かな心を醸成することも重要

「地域医療支援センター」を設置し、医学生や若手医師のキャリア形成を支援する取り組みも始めていますので、今後は



「いばらき総文2014」(7月27～31日開催)

おり、大変暮らしやすいところですが、全国に誇るべきものも数多くありますが、県民の多くの方は必ずしも意識していません。県民の方に本県の素晴らしさを再確認していただき誇りに思っていただけけるよう、県としても郷土検定などを進めてまいります。その上で、県民あげて本県の魅力発信に力を入れていければと思います。

アンテナショップ「茨城マルシェ」やいばきTVなども、もつともつと活用していきたいと考えております。
木村 これからの茨城がますます楽しみです。最後は今年度の抱負と、県民の皆さんへのメッセージをお願いします。

知事 まずは復旧・復興、風評対策を一生懸命に進めていきます。経済面でも明るい兆しが見えてきています。経済面でも明るく、県民の皆さんへのメッセージをお願ひいたします。
また、女性医師の復職、再就職を支援する事業も推進しています。また、「地域医療支援センター」を設置し、医学生や若手医師のキャリア形成を支援する取り組みも始めていますので、今後は

それと、県民の皆さんと力を合わせ、これからの日本の発展の一翼を担えるような県をつくっていきたくと考えております。

いばらきの歴史再発見

常陸国風土記 ゆかりの地をめぐる 3

常陸国風土記
1300年
記念

常陸国風土記ゆかりの地をめぐる3回目、鹿島神宮に由来するとされる香島郡と、自然豊かな土地をもたらす那珂川を中心とする那賀郡の紹介です。

香島郡

太平洋と北浦に挟まれた地域



童子女の松原公園 おとめのまつばらこうえん (神栖市波崎)
生涯学習センターの駐車場から続く童子女の松原公園は、常陸国風土記にちなんだ土器や像、鐘が設置され、風土記をより深く知ることができる公園となっている



角折浜 つのおれのはま (鹿嶋市角折)
大野潮騒はなます公園の目の前に広がるのが角折浜。公園内の展望塔に登れば、浜の様子を一望することができる



鹿島神宮 かしまじんぐう (鹿嶋市宮中)
皇紀元年(紀元前660年)の創建と伝えられ、ご祭神は武甕槌大神(たけみかづちのおおかみ)。東国三社の一つに数えられている名社で、多くの参拝者を集める



那賀郡

那珂川流域を中心とした一帯



大串貝塚ふれあい公園 おおくしがいづかふれあいこうえん (水戸市塩崎町)
ダイダラボウ像とともに見ることができる大串貝塚。縄文時代前期に形成されたという大串貝塚は、常陸国風土記に記述があり、文献に記された貝塚としては世界で最も古い。なお、貝層断面観覧施設を見るためには予約が必要となっている



那珂川 なかがわ (城里町阿波山)
常陸国風土記には粟河とされている那珂川。「あわ」の名が残る城里町阿波山付近の川の流れ。城里町立桂図書館・郷土資料館がある付近となる



朝房山 あさぼうやま (笠間市池野辺)
常陸国風土記において、嘯時臥山とされている朝房山の山頂



くれふしの里古墳公園 くれふしのさとこみんこうえん (水戸市牛伏町)
朝房山の近くにあるくれふしの里古墳公園は、全部で16基からなる牛伏古墳群を修復し公園としたもので、シンボルとなる「はに丸タワー」などがある

香島郡

常陸国風土記には、香島郡に関する伝説が数多く残されています。まず、香島郡の名の由来ともなった鹿島神宮については「天の大神の社、坂戸の社、沼尾の社、三処を合わせて、総べて香島の天の大神という」と記述され、鹿島神宮とともに坂戸神社、沼尾神社の名が残されています。さらに、郡の役所となる郡衙が、鹿島神宮の南にあるとの記述に基づき、実際に鹿島神宮の南約1.5キロメートルの場所で礎石建物、掘立柱棟が発見され、鹿島神宮境内附郡家跡、神野向遺跡」とされています。

また角のある大蛇が、海に出ようと浜に穴を掘っていたが、角が折れてしまいその名がついたとの伝説がある角折浜は、鹿島市角折地区の砂浜とされています。海岸近くにある大野潮騒はなます公園にある展望台から、その角

那賀郡

古代、那賀郡の中央を流れる那珂川に沿って生活や文化、伝説が伝えられたのではないかと考えられ、那珂川は地理的に見ても重要な役割を果たしていました。常陸国風土記に、粟河とあるのがこの那珂川です。粟河は、上流に阿波郷(城里町)があったことからこの名前と呼ばれていたとされています。現在その名残は、城里町役場桂支所がある地域の阿波山という地名としてのみ見ることができます。

嘯時臥山には、蛇神の伝説が残されています。嘯時臥山とは、水戸市、笠間市、城里町の境に位置する朝房山(標高201メートル)とされています。朝房山の山頂には、小さな祠と石碑が立っており、古代には神々しい姿を見ることができた山なのかもしれません。水戸市にある大串貝塚にまつわる巨人伝説も那賀郡のもので、大昔住んでいた巨人が、丘の上から手を伸ばして採って食べた貝が積もって貝塚となった、と記述されており、大串貝塚ふれあい公園を訪れば、その貝塚の史跡を見ることができます。